2026 年 11 月 20 日

各　位

会社名　　株式会社アイ・ピー・エス
銘柄名　　株式会社ＩＰＳ
代表者名　　代表取締役　　宮下　幸治
（コード番号：4390　東証プライム）
問合せ先　　経営企画部　次長　佐藤　徹二
（TEL. 03-3549-7719）

米国貿易開発庁(USTDA)との助成契約締結に関するお知らせ

当社の連結子会社であり、国際通信事業を担う InfiniVAN, Inc.（以下「InfiniVAN」といいます。）は、2026 年 11 月 19 日付で、フィリピン共和国における「Silangan 海底ケーブルシステム構想」のフィージビリティ・スタディ(実現可能性調査)に関し、米国貿易開発庁(United States Trade and Development Agency、以下「USTDA」といいます。）と助成契約（以下「本契約」といいます。）を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．本契約締結の理由

USTDA は、グローバルインフラ投資パートナーシップ（PGII）※1 やデジタル接続・サイバーセキュリティパートナーシップ（DCCP）※2 等の国際的な枠組みに基づき、安全保障およびデジタルインフラの強化を目的とした国際海底ケーブル計画に対し、フィージビリティ・スタディや資金調達に関する支援を行っております。また、重要なデータトラフィックの保護とオープンアクセスの原則を重視し、主要通信ルートの冗長性（迂回ルート）確保による信頼性の高いクラウド・AI エコシステムの構築を推進しております。 今般、InfiniVAN が検討を進める「Silangan 海底ケーブルシステム構想」が USTDA の上記方針および支援対象に合致したことから、本調査の推進および実現可能性の検証を目的として、本契約を締結することといたしました。

２．本契約及び対象構想の概要

(1) 対象構想（Silangan 海底ケーブルシステム構想）の概要

- **整備計画：** フィリピン共和国・ルソン島北部 Claveria に位置する米国ハイパースケーラーの陸揚局（CLS）を起点とし、同島東側を経由して南部ミンダナオ島 Davao まで延伸する全長約 2,166km の海底ケーブルシステム、および同島東岸にて建設を進めている Baler CLS を含む 7〜15 箇所の CLS（予定）の構築
- **接続先・目的：** AI データセンターの誘致を目指すルソン島東部の経済特区を管轄する政府系公社（APECO）との接続、米国海底ケーブル事業者のアジア市場への接続、フィリピンにおける国際ゲートウェイおよびデータセンターハブの構築、ならびに同国 1 億 1,700 万人超のインターネット利用環境の改善

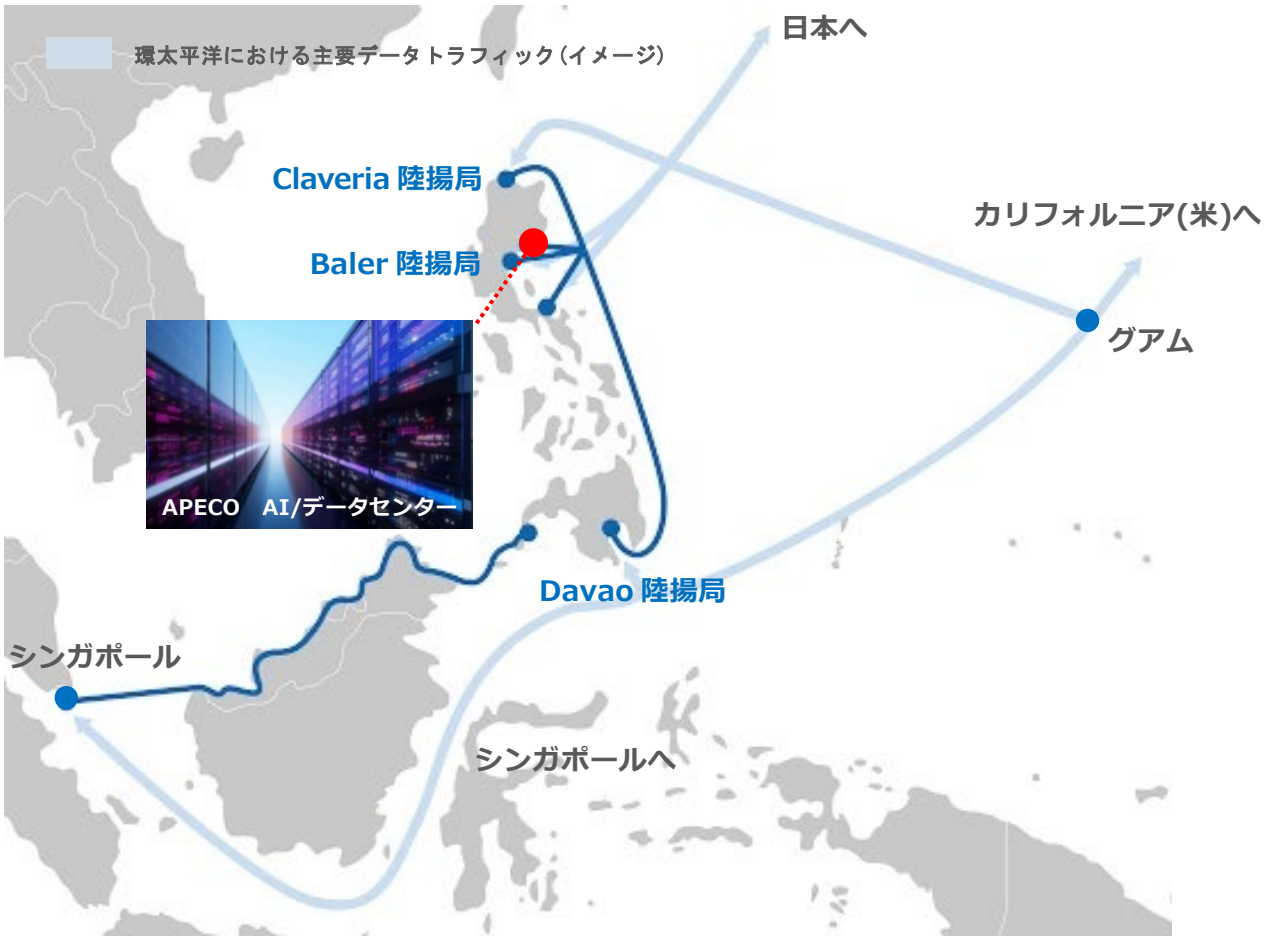
(2) 本契約に基づく支援内容

- **調査費用の助成：** 海底ケーブルの敷設設計、CLS 設計、サプライヤー選定、需要分析に基づくプレセールス活動等にかかるフィージビリティ・スタディ費用の一部助成
- **資金調達・外部評価支援：** 国際金融公社（IFC）、米国国際開発金融公社（DFC）、アジア開発銀行（ADB）等との資金調達計画の策定支援、および海底ケーブルシステム構築後の環境社会・開発効果等に関する外部評価の支援提供

*1 持続可能で包摂的、かつ強靭で質の高いインフラへの公的及び民間投資を促進するための G7 の共通コミットメント。気候変動とエネルギー危機、サプライチェーンの強靭化、デジタルインフラと交通網による連結性、持続可能な保健システム、ジェンダー平等と公平性など、一連の喫緊の優先事項への投資を実現

*2 新興国市場における安全なインターネットアクセスの拡大とオープンで信頼性の高いデジタル経済の発展を推進する米国政府主導のグローバルな多国間イニシアチブ

Silangan 海底ケーブルシステム構想



３．今後の見通し

本件は、当社グループの将来的な業績への寄与と中長期的な企業価値の向上に資するものと考えております。2027 年 3 月期連結業績の寄与は軽微ですが、本フィージビリティ・スタディの実行状況を踏まえ、事業可能性の検証等を進めるとともに開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

（参考）当期連結業績予想および前期連結実績　（百万円）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
当期連結業績予想（2027 年 3 月期）	20,080	6,100	6,177	4,200
前期連結実績（2026 年 3 月期）	16,999	5,370	5,787	4,196

以上

(ご参考)USTDA プレスリリース

USTDA Supports Trusted Digital Backbone Across the Philippines

Manila, Philippines – The U.S. Trade and Development Agency is supporting the development of a trusted submarine cable system that would provide secure communications infrastructure by linking the Philippines' two largest islands, Luzon and Mindanao, along the country's eastern seaboard. USTDA signed an agreement with private Philippine telecommunications company InfiniVAN Inc. to fund a feasibility study for the Silangan Submarine Cable System. The project would also open new markets for U.S. technology companies and give the Philippines the high-capacity domestic connectivity it needs to become a regional data center hub.

"Silangan is more than a cable. It is a trusted digital backbone that would link the Philippines' international gateways and communities along its eastern seaboard into one secure, resilient network," said Thomas R. Hardy, USTDA's Deputy Director. "A connected, secure Philippines makes America safer, strengthens our alliance, and gives American SI and cloud providers a trusted foundation to grow across a market of more than 117 million people."

InfiniVAN selected Nevada-based Lambda Consulting LLC to carry out the study, which will analyze market demand and assess the project's technical and economic feasibility. It will also map out how to build the system, including a high-level route, designs for seven to 15 cable landing stations, the permits and approvals required, a plan for selecting the companies that will build it, and an implementation roadmap. To help mobilize financing, the study will produce a commercialization and financing plan and connect InfiniVAN with companies that may want to buy capacity on the system, making the project more attractive to lenders and investors.

The Philippines' data center market is gaining momentum as demand for SI grows. New international subsea cable landings in northern Luzon and Mindanao are expanding the country's global connectivity, but limited domestic fiber infrastructure leaves major cities and regions without the trusted high-capacity domestic links needed to fully leverage these connections. As a result, telecommunications operators have few alternative routes if a connection fails, and data center developers struggle to find enough capacity to expand beyond Manila.

The Silangan system would connect these international gateways with redundant, high-capacity, trusted infrastructure, helping the Philippines attract data center investment. The project would establish a secure subsea cable route along the country's eastern coast, and its trusted technology would protect sensitive data from cyberattacks, espionage, and malign influence. The project would also help close the digital divide across the country's more than 7,600 islands, expand local internet access, and support job creation beyond major urban centers.

Alejandro A. Aquino, InfiniVAN Executive Advisor for Strategic Partnerships and Business Development said: "USTDA's catalytic support comes at a critical time as the Philippines' digital infrastructure enters its next phase of development. Silangan would extend InfiniVAN's leadership as a wholesale digital backbone provider beyond the Philippine Domestic Submarine Cable Network and the company's growing domestic and international fiber networks, positioning the Philippines to attract AI and cloud-focused investments while also serving the public through increased capabilities in maritime awareness, disaster warning and connectivity for underserved communities. We look forward to working with American companies whose innovation and expertise in subsea systems and sensing technology would make Silangan possible."

(ご参考)同プレスリリースを当社にて和訳

USTDA、フィリピン全土を結ぶ「信頼できるデジタル基幹網」を支援

フィリピン・マニラー米国貿易開発庁（USTDA）は、フィリピン最大の 2 つの島であるルソン島とミンダナオ島を同国東岸沿いに結び、安全な通信インフラを提供する、信頼性の高い海底ケーブルシステムの開発を支援しています。USTDA は、フィリピンの民間通信事業者 InfiniVAN Inc.との間で、Silangan 海底ケーブルシステムのフィージビリティ・スタディへの資金提供に関する契約を締結しました。本プロジェクトは、米国のテクノロジー企業に新たな市場機会を創出するとともに、フィリピンが地域のデータセンターハブとなるために必要な大容量の国内通信インフラを提供することを目指しています。

USTDA 副長官の Thomas R. Hardy 氏は、次のように述べています。
「Silangan は単なる海底ケーブルではありません。フィリピンの国際ゲートウェイと東岸地域のコミュニティを、一つの安全で強靭なネットワークとして結ぶ、信頼性の高いデジタル基幹インフラです。フィリピンの接続性と安全性を高めることは、米国の安全保障を強化し、両国の同盟関係を強固にするとともに、米国の SI・クラウド事業者が 1 億 1,700 万人を超える市場で成長していくための信頼性の高い基盤を提供します。」

InfiniVAN は、本調査の実施事業者として、米国ネバダ州を拠点とする Lambda Consulting LLC を選定しました。本調査では、市場需要を分析するとともに、本プロジェクトの技術面および経済面における実現可能性を評価します。また、海底ケーブルシステムの構築に向け、概略ルート、7～15 カ所の海底ケーブル陸揚局の設計、必要となる許認可、建設事業者の選定計画、実施ロードマップなどを策定します。さらに、資金調達を促進するため、本調査では事業化計画および資金調達計画を策定するとともに、本システムの回線容量購入に関心を持つ企業と InfiniVAN との連携を図り、金融機関や投資家にとって本プロジェクトの魅力を高めることを目指します。フィリピンのデータセンター市場は、SI 需要の拡大を背景に成長の勢いを増しています。ルソン島北部およびミンダナオ島への国際海底ケーブルの新規陸揚げが増加し、同国のグローバルな接続性は向上していますが、国内の光ファイバーインフラは依然として限定的であり、主要都市や各地域では、これらの国際接続を最大限に活用するために必要な、信頼性の高い大容量の国内通信回線が十分に整備されていません。その結果、通信事業者が利用できる障害発生時の代替ルートは限られており、データセンター事業者もマニラ首都圏以外へ事業を拡大するために必要な通信容量の確保に苦慮しています。Silangan システムは、これらの国際ゲートウェイを、冗長性、大容量、信頼性を備えたインフラで接続し、フィリピンへのデータセンター投資の誘致を後押しすることを目指しています。また、フィリピン東岸沿いに安全な海底ケーブルルートを構築し、信頼性の高い技術を通じて、機密性の高いデータをサイバー攻撃、スパイ活動、悪意ある影響から保護することを目指します。さらに、本プロジェクトは、7,600 を超える島々からなるフィリピン全土のデジタル格差の解消、地域におけるインターネットアクセスの拡大、主要都市圏以外での雇用創出にも貢献することが期待されています。

InfiniVAN の戦略的パートナーシップ・事業開発担当エグゼクティブ・アドバイザー、Alejandro A. Aquino 氏は、次のように述べています。
「フィリピンのデジタルインフラが次の発展段階を迎える中、USTDA による今回の触媒的な支援は、極めて重要なタイミングで行われるものです。Silangan は、Philippine Domestic Submarine Cable Network (PDSCN) や、当社が拡充を進めている国内外の光ファイバーネットワークをさらに発展させ、ホールセール型デジタル基幹インフラ事業者としての InfiniVAN のリーダーシップを一段と強化するものです。これにより、フィリピンが AI・クラウド関連投資を誘致するための基盤を整えると同時に、海洋状況把握、災害警報、通信サービスが十分に行き届いていない地域への接続性向上などを通じ、公共分野にも貢献することが期待されます。Silangan の実現に不可欠な海底ケーブルシステムやセンシング技術に関する革新的な技術と専門知識を持つ米国企業と協力できることを期待しています。」